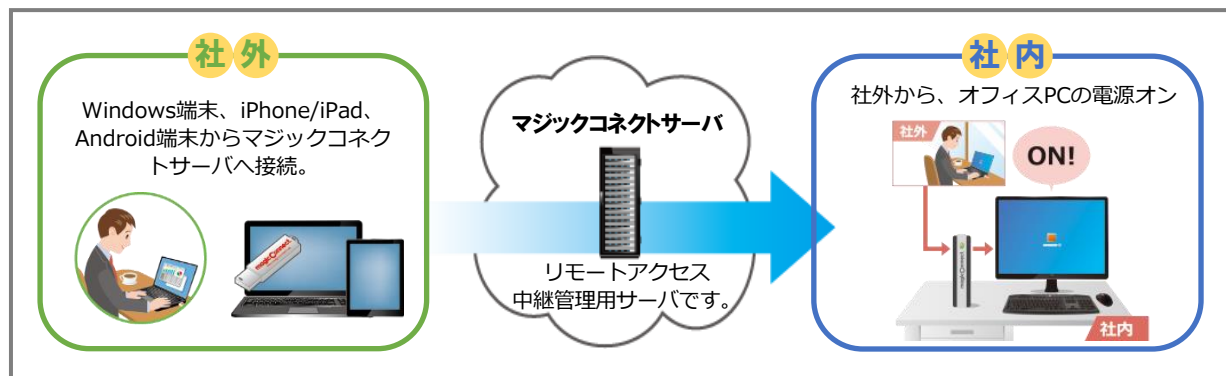


はじめに

WOLコントローラ「MC3000」は、社外から社内にあるオフィスPCの電源を遠隔で投入できる、マジックコネク専用アプライアンスです。

本書はお手元にMC3000が届いた後、**MC3000管理者**が実施する作業について説明します。



🔧 ご利用までの流れ

1	はじめに	P. 1
		⇓	
2	グループ化の設定	P. 3
		⇓	
3	MC3000の設置	P. 7
		⇓	
4	MC3000の本体設定	P. 8
		⇓	
5	MC3000に利用者を登録する	P. 12
		⇓	
6	MC3000 Windowsユーザーのパスワード変更	P. 17
		⇓	
	付録	P. 20

MC3000をセットアップする前に、以下の物品が準備されていることを確認します。

🔧 NTTテクノクロスから納品された物品一覧

物品	説明
MC3000	MC3000筐体、ACアダプタ、電源ケーブルのセットです。
MC3000専用USBメモリ	本体に同梱されているMC3000専用USBメモリです。
MC3000納品明細書	MC3000の設定情報やサインイン情報が印刷された書類です。
ユーザアカウント一覧表	以下の情報が一覧として印刷された書類です。 □サーバ情報 □アカウント(ユーザ名) □パスワード

🔧 お客様にご用意いただく物品一覧

物品	説明
LANケーブル	MC3000に接続するための、LANケーブル(Cat5e,Cat6)です。
ディスプレイ式	MC3000に接続するための、ディスプレイです。 DVI/VGAいずれかで接続が可能なディスプレイをご用意ください。
キーボード	MC3000に接続するための、USBキーボードです。
マウス	MC3000に接続するための、USBマウスです。



ワンポイント

MC3000専用USBメモリを使用する前にPCに接続し、格納されているデータをバックアップしてください。



ワンポイント

セットアップ完了後は、ディスプレイ、キーボード、マウスを取り外して運用可能です。

グループ化の設定

MC3000を利用するために、
利用者のアカウントとMC3000の
アカウントのグループ化をします。

設定内容

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 管理機能にログイン | P. 3 |
| 2. グループ化をする | P. 5 |

1. 管理機能にログイン

Step1 マジックコネクトホームページ(<https://www.magicconnect.net/>)
より、「管理機能」をクリックします。



Step2 「マジックコネクト (従来モデル)」の「サーバ」欄にサーバの
ホスト部分を入力し、「ログインはこちら」をクリックします。

サーバ情報は「ユーザアカウント一覧表」に記載されています。

例えば、サーバ情報が

「asp1.magicconnect.net」の場合は「asp1」

「fuji.magicconnect.net」の場合は「fuji」

と入力します。



Step3

「ユーザアカウント一覧表」の「■管理者アカウント／初期パスワード(※1)」行に記載されている、「管理者用アカウント」を「ユーザ名」欄、「初期パスワード」を「パスワード」欄に入力し、「ログイン」をクリックします。

ユーザ認証

ユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名

パスワード

契約ID : 000000

MagicConnect ユーザアカウント一覧表

■ユーザ情報			
追加日時		***.magicconnect.net	ポート : 443
追加場所	Windows Mac	***.magicconnect.net-443	
追加理由	OS Android	***.magicconnect.net	

■管理者用アカウント ※管理者用は機能を利用する際に用いられる機能です。このアカウントはマジックコネクタドキュメントアクセスには利用できません。

管理者用アカウント (ユーザ名) 初期パスワード (パスワード)

[管理者用アカウント] [初期パスワード]

Step4

「アカウント管理用メニュー」から「グループ化」をクリックします。

メニュー

ようこそ **account_admin** さん。

このページは、MagicConnect契約アカウントのアカウント管理用メニューです。
ご利用になりたいメニューを選択してください。

[アクセス履歴の表示](#)

[ユーザ管理](#)

[グループ化](#)

[セキュリティ](#)

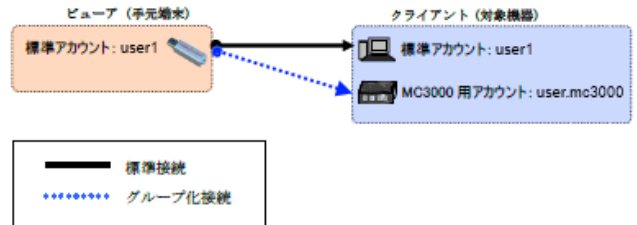
[パスワードの変更](#)

[ログアウト](#)

2. グループ化をする

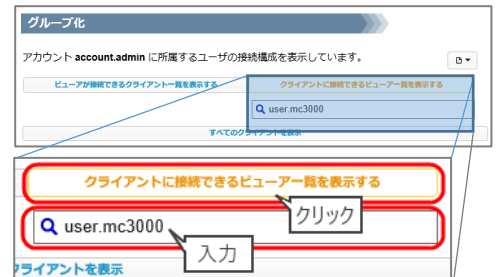
MC3000の対象機器専用アカウントを [user.mc3000]、
利用者が使用する標準アカウントを [user1] として説明します。

※標準アカウント：マジックコネクトを経由して
MC3000に接続し、対象機器を遠隔起動するアカウントです。



Step1 「クライアントに接続できるビューア一覧を表示する」をクリックします

直下のテキストボックスに、MC3000の対象機器専用アカウント
(user.mc3000)を入力し、クリックします。



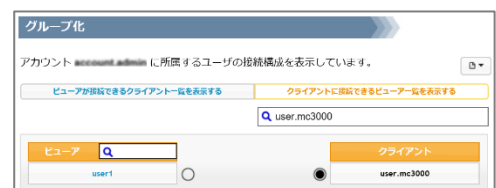
Step2 「すべてのクライアントを表示」をクリックします。



Step3 「すべてのビューアを表示」をクリックします。



Step4 MC3000の対象機器専用アカウントへ接続可能な全アカウントが
表示されます。



Step5 ビューアのアカウント横に表記されている○マークをクリックします。

○マークが変化して、「青」の接続線と「グループ化接続が変更されました。」のメッセージが表示されます。

注意 この時点では、マジックコネク特サーバには、変更した内容は反映されません。



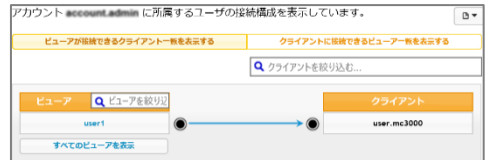
Step6 変更した内容をマジックコネク特サーバに反映するため、「編集内容をシステムに反映する」をクリックします。



Step7 確認メッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



Step8 指定したビューアのアカウントから、MC3000の対象機器専用アカウントへ接続可能となった構成が表示され、グループ化の設定は完了です。



ワンポイント

下記メッセージが表示された場合は、変更した内容はマジックコネク特サーバへ反映されていません。主な原因として、タイムアウト(管理画面にログインしたまま長時間操作をしなかった場合)が考えられます。ページを再読み込みし、「1. 管理機能にログイン」の **Step3** からやり直してください。

注意 グループ化接続情報の編集に失敗しました。ページを再読み込みしてください。

MC3000の設置

MC3000を利用場所に設置します。

設定内容

1. MC3000の設置 P. 7

1. MC3000の設置

Step 1

MC3000にMC3000専用USBメモリ、キーボード、マウス、ディスプレイ、LANケーブル、ACアダプタを接続します。



ワンポイント

セットアップ完了後は、ディスプレイ、キーボード、マウスを取り外して運用可能です。

MC3000の本体設定

MC3000のクライアントを設定し、マジックコネクツサーバへ接続します。

設定内容

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. MC3000にサインインする | P.8 |
| 2. MCクライアント設定 | P.9 |

1. MC3000にサインインする

Step1 ACアダプタを電源コンセントに挿します。自動的に起動し、前面パネルの電源ランプが緑に変わります。

電源ランプが緑にならない場合、「電源ボタン」を押します。

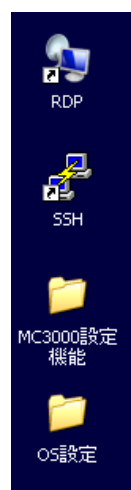
Step2 OS起動後、サインイン画面が表示されます。「ユーザー名」欄「パスワード」欄に「MC3000管理者」のアカウント情報を入力し、Enterキーを押します。

アカウント情報は「MC3000 納品明細書」→「■MC3000データ」に記載されている「MC3000管理者」のユーザ名とパスワードを入力します。



Step3 サインイン後、デスクトップに以下4点のアイコンが表示されている事を確認します。

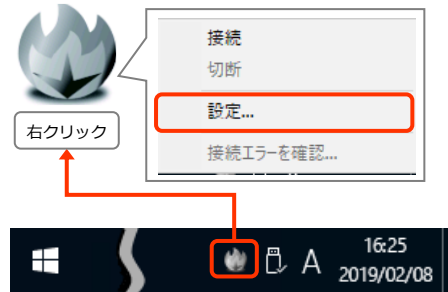
- ①RDP
- ②SSH
- ③MC3000設定機能
- ④OS設定



2. MCクライアント設定

Step 1

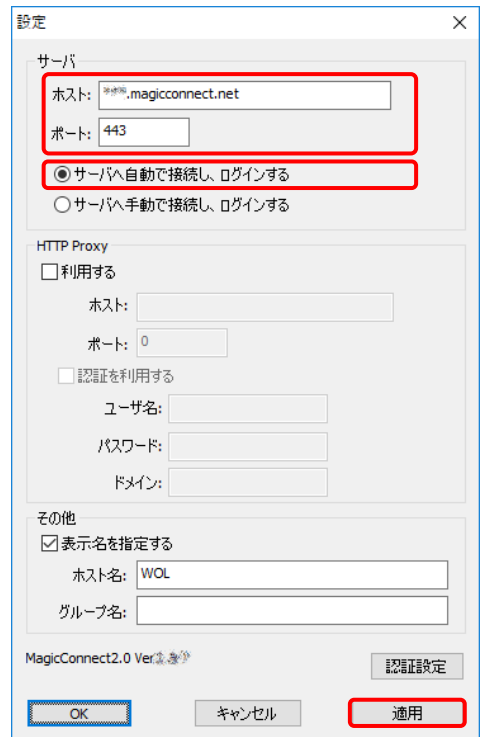
機器の画面右下にある通知領域に表示されているグレーの炎のアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」をクリックします。



Step 2

設定画面の「ホスト」と「ポート」に、「ユーザアカウント一覧表」に記載されているサーバ情報を入力します。

次に「サーバへ自動で接続し、ログインする」を選択し、「適用」をクリックします。



ワンポイント

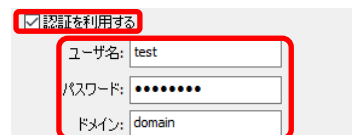
【インターネット接続にProxyを利用している場合】

「利用する」にチェックを入れ、「ホスト」と「ポート」に利用するネットワーク環境で使用しているProxyサーバの情報を入力します。



【Proxyサーバで認証を利用している場合】

「認証を利用する」にチェックを入れ、Proxyサーバの認証情報を入力します。



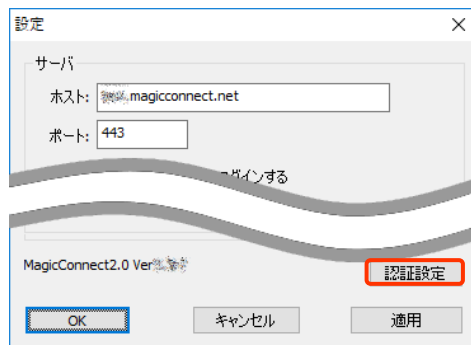
ワンポイント

【一覧に表示されるMC3000のホスト名を変更したい場合】

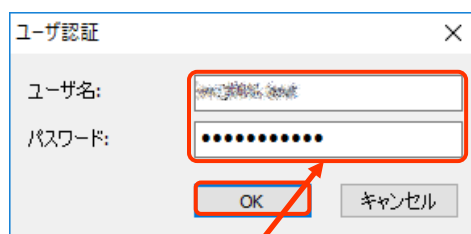
「表示名を指定する」がチェックされていることを確認し、「ホスト名」に識別可能な名前を入力します。「グループ名」の入力は任意です。



Step3 設定画面右下の「認証設定」をクリックします。



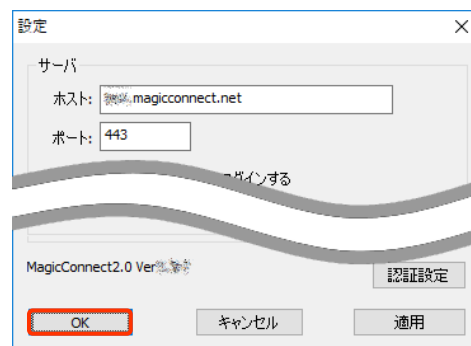
Step4 MC3000の対象機器専用アカウントのユーザ名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



※ ユーザ名とパスワードは、「アカウント一覧表」の「■一般ユーザアカウント」に記載されています。

アカウント種別	USBロット専用	タイプ	アカウント (ユーザ名)	初期パスワード
対象機器専用			[ユーザ名]	[初期パスワード]

Step5 設定画面の「OK」をクリックします。



Step6

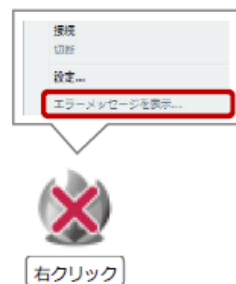
画面右下の通知領域にある炎のアイコンを右クリックし、メニューから「接続」を選択します。
アイコンがグレーからブルーに変わり、マウスカーソルをアイコンに重ねると「接続待ち」と表示されます。
この状態で社外からマジックコネクで接続可能となります。



ワンポイント
【炎のアイコンに×が表示される場合】

マジックコネクサーバへの接続に失敗しています。
アイコンを右クリックし、メニューから「エラーメッセージを表示...」を選択し、接続に失敗している理由やお問い合わせコードをご確認ください。

お問い合わせコードの説明や対処方法については、お客様サポートページ (<https://www.magicconnect.net/support/>) の[困ったときは]の「お問い合わせコードと対処方法」をご覧ください。



MC3000に利用者を登録する

利用者から対象機器の情報を収集して、MC3000に設定し、遠隔起動できるようにします。

設定内容

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. MC3000管理者から利用者へ情報の取得を依頼する | P.12 |
| 2. 対象機器のWOL起動設定 | P.13 |
| 3. 遠隔起動できることを確認する | P.16 |

1. MC3000管理者から利用者へ情報の取得を依頼する

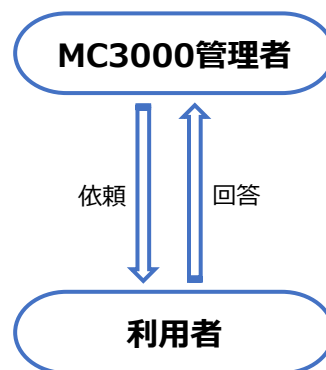
Step 1 MC3000管理者から利用者へ、以下手順書の該当項目を参照し、遠隔起動したい対象機器の情報を収集するよう依頼します。

「お客様サポート」ページ → マニュアル
 (<https://www.magicconnect.net/support/manual/>) の「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「MC3000利用者手順書」にある「2.対象機器の情報収集」

⚠ 注意 対象機器は、社内にあるアクセス先となるPCです。

必要な情報は以下3点です。

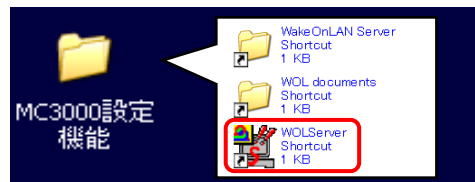
必要な対象機器の情報	データ例
MACアドレス	AA-BB-CC-DD-EE-FF 00-10-9A-5B-9E-77
IPアドレス	192.168.10.20 172.16.5.30
サブネットマスク	255.255.255.0 255.255.0.0



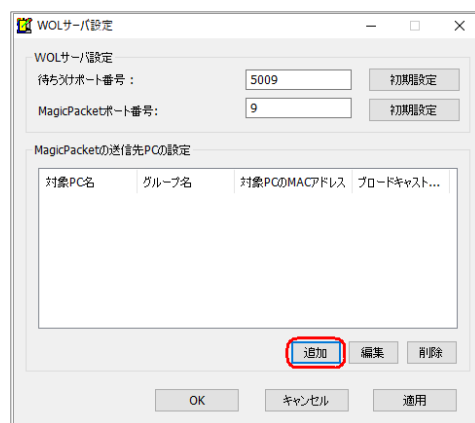
手順書を参照し、
対象機器の情報収集

2. 対象機器のWOL起動設定

Step1 デスクトップにある「MC3000設定機能」フォルダ内の「WOLServer」アイコンをダブルクリックします。



Step2 「追加」をクリックします。



Step3

利用者情報と、利用者から集めた対象機器の情報を入力します。
 入力する項目は以下の表を参照します。
 入力が完了しましたら、「設定」をクリックします。

	画面項目名	説明	要件
①	対象PC名	WOLクライアントのメインウィンドウの一覧に表示される対象PC名です。 利用者が識別可能な名称を設定します。	1文字以上の文字列(必須)
②	グループ名(任意)	WOLクライアントのメインウィンドウの一覧に表示されるグループ名を設定します。	1文字以上の文字列(任意、未入力可)
③	パスワード	利用者が遠隔起動する際に利用するパスワードを設定します。	1文字以上の文字列(必須)
④	対象PCのMACアドレス	利用者から収集した対象機器のMACアドレスを設定します。	12桁のMACアドレス(必須)
⑤	ブロードキャストのアドレス	利用者から収集した対象機器のネットワークと、MC3000のネットワークから計算したブロードキャストアドレスを設定します。	ブロードキャストアドレス(必須) 同一ネットワークセグメントの場合は「255.255.255.255」を設定します。



ワンポイント

ブロードキャストのアドレスについて

対象機器とMC3000のネットワーク情報を比較して、設定するブロードキャストのアドレスを判断します。

Aのケースでは、対象機器とMC3000のIPアドレスが3番目の数字まで同一で、サブネットマスクも3番目の数字まで同一です。この場合、同一ネットワークセグメントですので「255.255.255.255」を設定します。

Bのケースでは、対象機器とMC3000のIPアドレスは3番目の数字が異なるが、サブネットマスクは3番目の数字まで同一です。この場合、異なるネットワークセグメントなので、対象機器の属しているネットワークのディレクテッドブロードキャストアドレス「192.168.1.255」を設定します。

例		機器	IPアドレス	サブネットマスク	ブロードキャストのアドレス
A	同一ネットワークセグメント	対象機器	192.168.1.1	255.255.255.0	255.255.255.255
		MC3000	192.168.1.20	255.255.255.0	
B	異なるネットワークセグメント	対象機器	192.168.1.1	255.255.255.0	192.168.1.255
		MC3000	192.168.2.20	255.255.255.0	

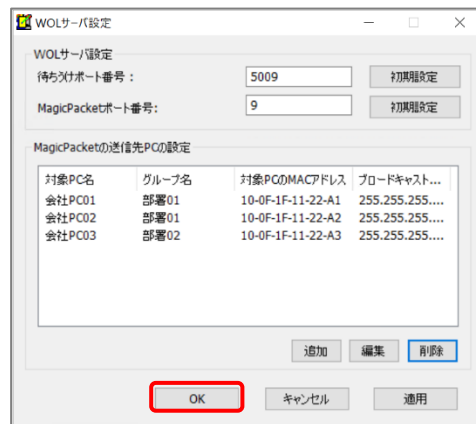
Step4

Step3 で、登録した内容が一覧に表示されることを確認します。

※ この時点では、まだ保存されていません。

登録を続ける場合は、「追加」をクリックして別の対象PCを登録をします。

登録を完了する場合は、「OK」をクリックし保存します。



3. 遠隔起動できることを確認する

Step1 対象機器の遠隔起動の設定及び、遠隔起動確認を利用者に依頼します。

1. 登録した対象PC名とパスワードを通知します。
2. 「MC3000利用者マニュアル」の「3. 対象機器の遠隔起動設定」および「4. 対象機器の遠隔起動する」の実施を依頼します。

※ 手順書は、以下よりご案内ください。
「お客様サポート」ページ → マニュアル
(<https://www.magicconnect.net/support/manual/>) の
「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 →
「MC3000利用者マニュアル」

Step2 対象機器が遠隔起動できれば、作業は完了です。



ワンポイント

遠隔起動に失敗する場合は、以下の手順書を参照します。

「お客様サポート」ページ → マニュアル (<https://www.magicconnect.net/support/manual/>) の「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「MC3000で対象機器を起動できない場合の原因切り分け手順」

MC3000 Windowsユーザーのパスワード変更

MC3000の設定完了後、商用出荷時の初期パスワードを安全なパスワードに変更します。

設定内容

1. MC3000 Windowsユーザーのパスワードを変更する P.17

注意 MC3000管理者アカウント [admin] のパスワードが不明な場合、MC3000の管理作業を実施できなくなります。変更後はお忘れになりませんようお願いします。

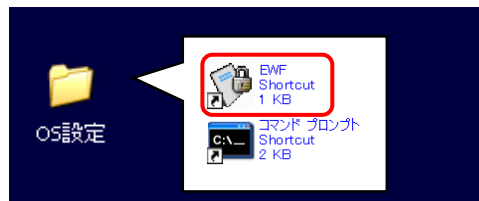
1. MC3000 Windowsユーザーのパスワードを変更する

MC3000は、書き込み保護機能(EWF)により、端末を再起動すると変更前の状態に戻ります。

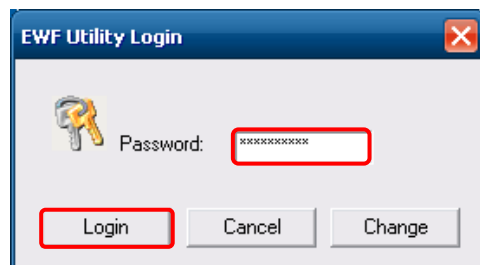
(MCクライアントの設定と、WOLServerの設定を除く。)

本手順では、書き込み保護を一旦解除し、安全なパスワードに変更します。

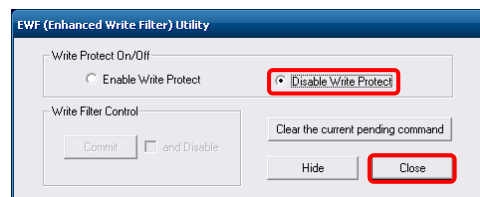
Step1 デスクトップの「OS設定」→「EWF」をダブルクリックします。



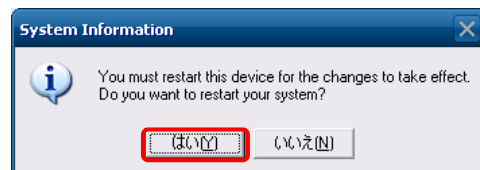
Step2 パスワードを入力し、「Login」をクリックします。
パスワードは「MC3000 納品明細書」→「■MC3000データ」に記載されている「EWFのパスワード」を入力します。



Step3 「Disable Write Protect」を選択し、「Close」をクリックします。



Step4 「はい」をクリックし、再起動します。

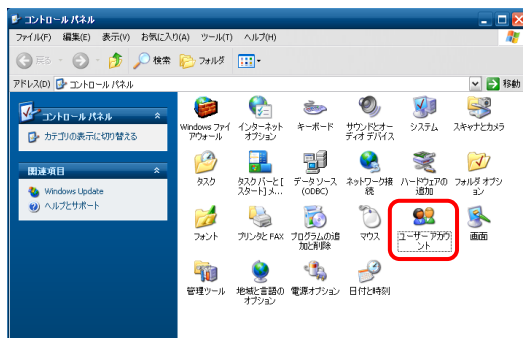


Step5 MC3000が起動した後、パスワードを変更するユーザーでサインインします。

- ・MC3000管理者アカウント [admin]
- ・踏み台利用者アカウント [user01] ~ [user03]

変更する対象ごとに、**Step6** ~ **Step8** の手順を繰り返します。

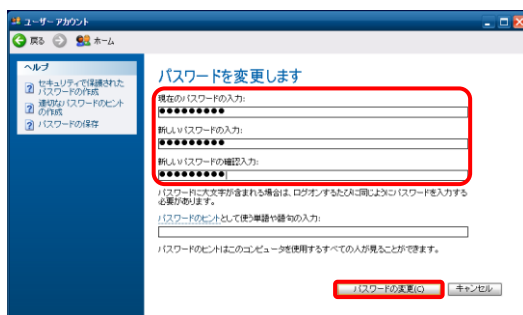
Step6 「スタート」→「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」の順に選択します。



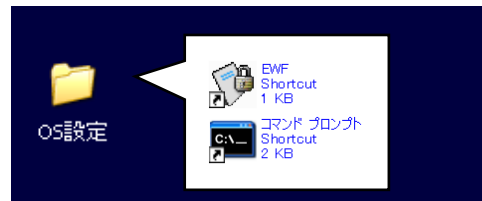
Step7 「パスワードを変更する」をクリックします。



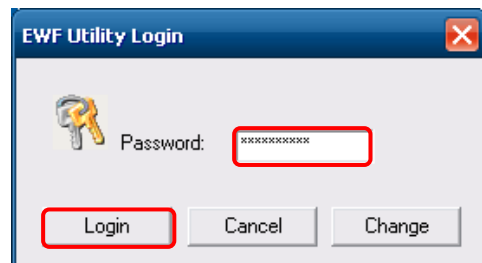
Step8 「現在のパスワード」「新しいパスワード」「新しいパスワードの確認」を入力し、「パスワードの変更」をクリックします。



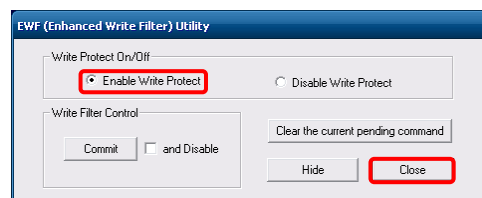
Step9 デスクトップの「OS設定」→「EWF」をダブルクリックします。



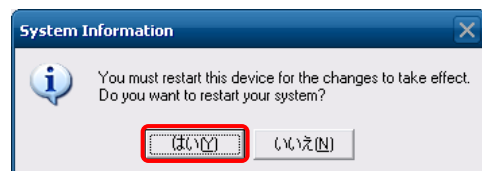
Step10 パスワードを入力し、「Login」をクリックします。
パスワードは「MC3000 納品明細書」→「■MC3000データ」に記載されている「EWFのパスワード」を入力します。



Step11 「Enable Write Protect」を選択し、「Close」をクリックします。



Step12 「はい」をクリックし、再起動します。



以上で、MC3000のセットアップは完了です。

付録

MC3000が利用できない場合や、設定を変更する場合について説明します。

設定内容

A. 対象機器が遠隔起動しない場合 P. 20
B. MC3000の設定を変更する場合 P. 20

A. 対象機器が遠隔起動しない場合

対象機器の遠隔起動が上手くいかない場合、以下の手順書を参照して原因を切り分けます。

「お客様サポート」ページ → マニュアル (<https://www.magicconnect.net/support/manual/>) の「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「MC3000で対象機器を起動できない場合の原因切り分け手順」

お問い合わせコードを確認したい場合には、同ページの「お問い合わせコードと対処方法」をご覧ください。

B. MC3000の設定を変更する場合

MC3000の設定変更をする場合、以下の手順書を参照します。

「お客様サポート」ページ → マニュアル (<https://www.magicconnect.net/support/manual/>) の「手順書」 → 「WOLコントローラ「MC3000」関連」 → 「MC3000管理者用リファレンス マニュアル」